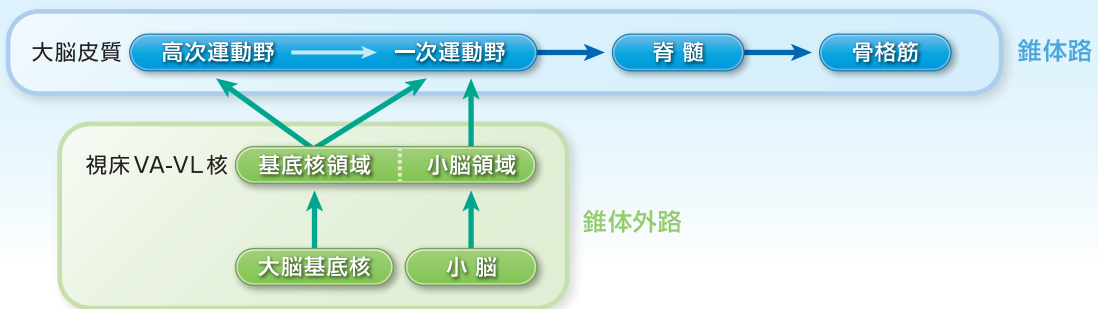
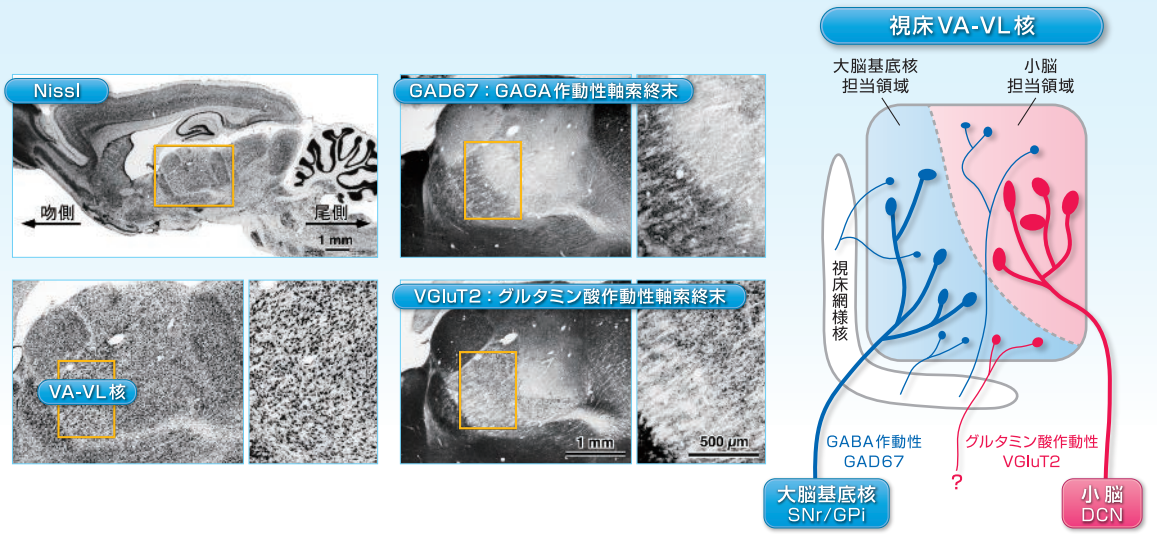


図1 脳の運動制御の概略図



随意運動は錐体路と、それを調節する錐体外路系が協調的にはたらくことにより実現されている。神経回路の詳細については未解明な部分が多い。

図2 大脳基底核と小脳から視床 VA-VL 核への投射



大脳基底核と小脳からの情報は、それぞれ視床 VA-VL 核の異なる領域に入力する。2つの領域は glutamic acid decarboxylase 67 (GAD67) や vesicular glutamate transporter 2 (VGLUT2) に対する免疫反応性の違いにより区別される (左: ラット脳矢状断面の Nissl および免疫染色像, 右: 模式図)。DCN: 小脳核, GPI: 淡蒼球内節, SNr: 黒質網様部。

(文献 3, 6 より改変引用)